



2026年 露地・雨よけぶどう 病害虫防除暦

JA 中野市園芸課
JA 中野市ぶどう部会

散布日	散布時期	散布薬剤(水 100ℓ当り)	収穫前使用時期	使用回数	散布量(ℓ/10a)	対象病害虫(発生病害虫)	注意事項
/	4月上旬 粗皮はぎ後 (発芽前)	【特別散布】 展着剤 (ハイテンパワー) 10 ℓ トクチオン水和剤 125 g	発芽前 45日前	3回	300	アザミウマ類 コナカイガラムシ類	① 訪花昆虫保護のため早朝散布を徹底する。 ② 晩腐病が多発した園は、ベンレート水和剤 200倍 (休眠期、1回) を加用する。
/	4月下旬 (発芽直前)	① 展着剤 (ハイテンパワー) 10 ℓ パスポート顆粒水和剤 400 g	休眠期	1回	300	晩腐病 黒とう病	① 晩腐病密度抑制のため、発芽前に散布完了する。
/	5月初旬 カイガラムシ 特別対策	【樹幹塗布】 水 20 ℓ アルバリン顆粒水溶剤 20 g	幼果期まで	塗布 1回	1樹当たり 20-40 ℓ	コナカイガラムシ類 (クビアカスカシバ)	塗布方法 ① 水:アルバリン=1:1で調合 ② 目安:直径 10 cm 以上樹 200 ℓ、直径 20 cm 以上樹 40 ℓ ③ 主幹分岐部下 30~50 cm 程度、粗皮削りし塗布する。 コウモリガ対策 ① ガットサイド S の 1.5 倍(幼虫食入期直前~食入初期、2回)を主幹部の地際から 30 cm の位置まで塗布する。
/	5月上旬 展葉 3 枚頃	【特別散布】 展着剤 (ハイテンパワー) 10 ℓ トレノックスプロアブル 100 ℓ	60日前	2回	300	晩腐病・べと病 黒とう病	
/	5月中旬 展葉 6 枚頃	② 展着剤 (ハイテンパワー) 10 ℓ ダイアジノン水和剤 34 100 g オーソサイド水和剤 80 125 g	30日前 30日前	2回 3回	300	べと病・灰色かび病 晩腐病・黒とう病 クワコナカイガラムシ 若齢幼虫	① 今回防除から概ね 10 日間隔の散布を目安とする。
/	5月下旬 展葉 9 枚頃	③ 展着剤 (ハイテンパワー) 10 ℓ ドーシャスプロアブル 50 ℓ	60日前	3回	300	べと病・晩腐病 黒とう病	① ツマグロアオカスミカメ対策:コルト顆粒水和剤 3,000倍(前日、3回)を加用する。
/	5月下旬 展葉 9 枚頃	展着剤 (ハイテンパワー) 10 ℓ ストマイ液剤 20 100 ℓ	満開予定日 14日前~ 開花始期	1回	300	無種子化	① 注意! 有核巨峰には飛散しないようにする。 ② 満開予定日 14 日前には概ね展葉 9 枚頃に該当する。遅れないように早めに散布する。
/	6月初旬 展葉 7~11 枚頃	展着剤 (ハイテンパワー) 10 ℓ フラスター液剤 ℓ	新梢展開葉 7~11 枚時 (開花始期まで)	2回	150	着粒増加 新梢伸長抑制	① 品種により倍率が異なるため、散布前に必ず登録内容(ラベル等)を確認する。種なし巨峰: 1,000 倍(10a 当り 3000)、ナガノパープル 500~800 倍 ② 弱樹勢や若木等は新梢伸長が弱る可能性あるため、散布を控える。
/	6月上旬 開花直前	④ 展着剤 (ハイテンパワー) 10 ℓ ロブラー水和剤 66 g オーソサイド水和剤 80 125 g トクチオン水和剤 125 g	60日前 30日前 45日前	3回 3回 3回	400	べと病・灰色かび病 晩腐病・褐斑病 黒とう病 アザミウマ類 コナカイガラムシ類	① 主幹害虫対策: 主幹・主枝等にも薬液が到達するようにする。 ② アザミウマ類対策: 花穂(軸部)に薬液が到達するようにする。
/	前回から 10日後 (落花直後)	⑤ グレーシアプロアブル スイッチ顆粒水和剤 ジマンダイセン水和剤 25 ℓ 33 g 100 g	7日前 30日前 45日前	2回 2回 2回	400	べと病・晩腐病 灰色かび病 チャノキイロアザミウマ ブドウサビダニ (ミカンキイロアザミウマ) (コガネムシ類)	① 注意: ジマンダイセン水和剤・ゾーベックエニベル顆粒水和剤等のマンゼブ成分を含む農薬は、年間の使用回数を 2 回までとする。 ② サビ防止対策: 花冠の飛びを確認して散布する。 果紛溶脱防止: 展着剤は今回から特別散布(落花 30 日後)まで使用しない。
/	前回から 10日後 (落花 10 日)	⑥ フェニックスプロアブル 25 ℓ トランスフォームプロアブル 50 ℓ ジマンダイセン水和剤 100 g	14日前 3日前 45日前	2回 3回 2回	400	べと病・晩腐病 黒とう病・褐斑病 スカシバ類 カイガラムシ類 アザミウマ類	① 注意: ジマンダイセン水和剤・ゾーベックエニベル顆粒水和剤等のマンゼブ成分を含む農薬は、年間の使用回数を 2 回までとする。
/	前回から 10日後 (落花 20 日)	農薬汚れ対策(代替): 雨よけはジマンダイセン水和剤に代えて、 ホライズンドライプロアブルの 2,500 倍(21 日前、3 回)を散布する。					
/	前回から 10日後 (落花 20 日)	⑦ レーベスプロアブル 50 ℓ アミスター10 プロアブル 100 ℓ ディアナ WDG 10 g	7日前 30日前 前日	3回 3回 2回	400	べと病・灰色かび病 晩腐病・褐斑病・黒とう病 アザミウマ類 クビアカスカシバ	
/	前回から 10日後 (落花 30 日)	【特別散布】 ライメイプロアブル 25 ℓ オンリーワンプロアブル 50 ℓ アディオンプロアブル 50 ℓ	14日前 前日 7日前	3回 3回 5回	400	べと病・灰色かび病 晩腐病・褐斑病・黒とう病 チャノキイロアザミウマ コガネムシ類	① 袋かけ直前の散布とする。 ② 晩腐病強化対策: オンリーワンプロアブルに代えて、ミギワ 20 プロアブル 2,000 倍(前日、3 回)を使用してもよい。
/	7月下旬 (袋かけ直後)	⑧ 展着剤 (アビオン-E) 50 ℓ アルバリン顆粒水溶剤 50 g 園芸ボルドー 200 g	前日 —	3回 —	400	さび病・(べと病) チャノキイロアザミウマ ブドウトラカミキリ カメムシ類 コナカイガラムシ類	① ハダニ類対策: コロマイト水和剤 2,000 倍(7 日前、2 回)を加用する。 ② クビアカスカシバ対策: パダン SG 水溶剤 1,500 倍(14 日前、2 回)を加用する。 ③ 園芸ボルドーを使用する場合は、高温時や降雨後の散布で薬害を生じる恐れがあるため、クレフノン 100 倍を加用する。
/	8月上旬 (前回から 10日後)	⑨ 展着剤 (アビオン-E) 50 ℓ IC ボルドー-66D 2.5 kg テルスター水和剤 100 g	— 14日前	— 1回	400	べと病・(晩腐病 黒とう病・さび病) チャノキイロアザミウマ	① コガネムシ類対策: テルスター水和剤に代えて、イカズチ WDG の 1,500 倍(21 日前、5 回)を使用する。ただし、早生種は収穫前規制に注意する。
/	8月中旬 (前回から 10日後)	⑩ 展着剤 (アビオン-E) 50 ℓ IC ボルドー-66D 2.5 kg	—	—	400	べと病・(晩腐病 黒とう病・さび病)	① IC ボルドー代替: ムッシュボルドー DF の 500 倍又はクミガード SC の 1,000 倍又は園芸ボルドーの 500 倍を使用してもよい。ただし、変更する場合は、高温時や降雨後の散布で薬害を生じる恐れがあるため、クレフノン 100 倍を加用する。
/	8月下旬 (前回から 10日後)	⑪ 展着剤 (アビオン-E) 50 ℓ IC ボルドー-66D 2.5 kg	—	—	400	べと病・(晩腐病 黒とう病・さび病)	① IC ボルドー代替: 前項同様 ② 収穫中の園地に飛散しないように注意する。
/	特別散布 収穫終了後	展着剤 (アビオン-E) 50 ℓ IC ボルドー-66D 2.5 kg	—	—	400	べと病・(晩腐病 黒とう病・さび病)	

◆ 安全・安心の農産物生産のために使用基準を厳守しましょう。

◆ 混用例: 展着剤 ⇒ 液剤 ⇒ 乳剤 ⇒ 顆粒水溶剤 ⇒ 水溶剤 ⇒ プロアブル ⇒ ドライプロアブル (DF) ⇒ 顆粒水和剤 (WDG) ⇒ 水和剤

当防除暦の複製・コピーを禁止します。